

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。難関の入学試験に合格して、今日の晴れの日を迎えられましたことをお祝いいたします。本日も来場のご父母の皆様、そして関係者の皆様、ご子息ご息女のご入学、誠におめでとうございます。さぞかしお喜びのことと存じます。また、ご来賓の皆様には、お忙しいところ、ご来席を賜りまして、誠にありがとうございました。御礼申し上げます。

先ず、皆さんは、今日から晴れて学生になりました。学生は自由です。保護者の同意がなくても、自分の判断で何でもできます。しかし、それには責任があります。自分でしたことは、自分で責任を取らなくてはなりません。自由には責任が伴います。くれぐれも慎重に行動し、自ら責任が取れる範囲で自由を謳歌して、学生生活を送ってください。

さて、自由といえば、かつてアメリカ合衆国で、黒人の奴隷制は廃止されたものの、鉄道の車両やバスの座席、トイレ、学校、公共施設、レストランなどで黒人と白人を分離する人種差別が根強く残っていて、アフリカ系アメリカ人の自由は制約されていました。こういった人種差別を撤廃し、個人の権利の保障を訴えた公民権運動が起こり、マーティン・ルーサー・キング・ジュニア牧師が1963年8月28日に首都ワシントンのリンカーン記念堂の前で、約25万人を前にした演説で「I have a dream」、「私には夢がある」というフレーズを8回言いました。皆さんも聞いたことがあると思います。これは、全ての人間は平等であるという、アメリカ独立宣言にも盛り込まれている理念を訴えて、黒人が白人と平等に扱われるという夢を、いつか実現させることを決して諦めない、強い意志を示したものでした。

この夢は、1年後の1964年7月に公民権法が制定されて実現し、同年にはキング牧師にノーベル平和賞が授与されました。しかし、キング牧師は1968年の今日、4月4日にテネシー州メンフィスで凶弾に倒れ、わずか39歳という若さで亡くなりました。

私がここで皆さんに話したいことは、夢や目標を持って、それを絶対に実現させるぞと言う固い意志を持ち、実現させるために惜しみない努力をして欲しいということです。

話は変わりますが、皆さんはこれまでの学校生活の中で、「勉強なんてつまらない。どうして勉強しなくてはいけないのか。」と思ったことがあるでしょう。瀧本哲史氏は、『ミライの授業』という本の中で、「多くの子供たちは、勉強そのものが嫌いなわけではなく、勉強という、やる意味がわからないものを、やらされていることが嫌いなのだ。」と言っています。つまり、何を学ぶのか、何のために勉強するのかが、はっきりしないから、嫌いになるのです。

ということは、できるだけ具体的な目標を持つことが、勉強する気になる第一歩なのです。皆さんは将来の夢や目標を持っていますか。どんなものでも構いません。例えば、「世界中を飛び回るビジネスパーソンになる」、「自分の店を持つ」、「会社経営者になる」、「公認会計士か税理士になる」とか、「安定した会社に入社して、休みには趣味を楽しむ」なんて考える人がいてもいいでしょう。その夢や目標を実現するために、今すべきことは何かを考え、実行するだけです。

さあ、未来に向かって、夢を持ちましょう。そして、その夢を叶えるためにより具体的な目標を定めましょう。人間は、ゴールがなければ頑張れません。あとは、コツコツと実行するのみです。日々の努力が大切です。

ところで、世の中は不平等だと感じたことはありませんか。確かに、不平等なことも多いでしょう。でも唯一平等なものがあります。それは、時間です。子供でも大人でも、赤ん坊でも年寄りでも、大金持ちでも貧乏な人でも、地球上で生活している限り、誰にでも時間は平等です。「時間は平等、未来は不平等」という言葉があります。皆さんは今日、横浜商科大学に入学されて、あと4年間も大学生活があると思っていることでしょう。いいえ、4年間しかないのです。人生100年時代を生きる皆さんにとって、4年間はあっという間です。4年間は1,461日で、35,064時間ですが、もう3日と13時間以上過ぎてしまいました。

時間は万人に平等に与えられています。しかし、未来は未知で全くわかりません。全ての人に平等に与えられている、今ある時間を有効に使うか、無駄に使うかで、その人の未来は全く違ったものになるのです。

皆さんは、これから横浜商科大学で4年間を過ごします。この4年間をいかに有効に使うかで、皆さんの未来は変わります。

10年後、20年後、さらにその先もずっと一生の間、幸せな生活を送るためには、今すべきことは何かを考え、自らを少しずつ成長させていく努力をすることが求められます。大学に入学することは、決してゴールではありません。ここからがスタートです。横浜商科大学では、皆さんが将来、夢や希望を叶えて幸せな生活を営むことができるように、基礎学力を養い、社会力を鍛え、専門力を身につけることができるカリキュラムを用意して、皆さんの隠れた能力を開花させ、成長させる支援をします。

本学の教育プログラムを利用して自らを磨き、「安んじて事を託さるる人となれ」という建学の精神のもとで、誰からも信頼される人となり、グローバル社会で大いに活躍できる人になって卒業してください。4年後に横浜商科大学で学んで良かったと思って頂けるよう、教職員が全力で応援します。

新入生の皆さん、「時間は平等、未来は不平等」という言葉を胸に刻み、夢や目標の実現をめざして、今日から4年間を有意義に過ごし、自信を持って、輝かしい未来を切り開きましょう。

入学おめでとう。

平成31年4月4日

横浜商科大学 学長 小林 雅人